

さいたま緑のトラスト協会 0号地・緑のサポート隊、第15回定例会議事録

令和5(2023)年11月1日 <出席者 12人>

一 事務局から == 県庁オープンデー確認事項など(下段で) & 活動実績とスケジュール

- ① 10月29日、緑区区民祭り(埼玉スタジアム南広場)
 - ② 11月5日、嵐山祭り、3号地。(国立女性教育会館)
 - ③ 11月11日、会員の集い(軽食・お茶=会費500円)・セミナー最終日
 - ④ 11月14日、県庁オープンデー クラフト教室
 - ⑤ 11月15日、大人のクラフト体験教室 Xmasリース(埼玉教育会館)
 - ⑥ 11月21日、川越北公民館保全活動と自然観察(3号地・嵐山町)
 - ⑦ 11月26日、綾瀬川冬鳥観察、7号地(さいたま市の綾瀬川・深作川周辺)
 - ⑧ 11月29日、大人のクラフト体験教室 竹細工・正月飾り(埼玉教育会館)
 - ⑨ 12月2日、1号地竹の伐採、8号地伊藤園保全活動
 - ⑩ 12月9日、Xmasリース講座(北本)
 - ① 12月17日、13号地KDDI保全活動、ミニ門松作り(サンアメニティ北本)
 - ② 12月23日、ミニ門松作り(北本学習センター)
 - ③ 12月25日、写真・動画コンクール審査会(表彰式はR6年2月7日)
- ※10月26日ボランティアスタッフ連絡会議

一 10. 21 いなげやの保全活動体験は総じて好評で、来年も実施したい、と。

一 10. 22 みどりの祭典・反省など。

▽ 好天にも恵まれ入場者数が多く大変忙しく、メモホルダー120個、木ゴマ150個、ガリガリトンボ150本など好評だった。▽その分スタッフ人数が不足、交代要員がいなかった。特に季節外れの炎天下でのクイズコーナーは交代もなくスタッフが持たない。▽時間割で休憩など、工夫が必要。1, 3, 7号地以外からも応援を募る必要がある▽ボランティア活動全体の問題だが、人手不足を解決していくためにも、ボランティアは無償、という考え方を変える必要がある。変えないと、運動を次の世代に引き受けてもらえなくなり、高齢化によるじり貧でボランティアによる保全も消滅しかねない。

一 11. 14 県庁オープンデーでのクラフトメニューは木ゴマ、ネームストラップ、どんぐりストラップ。狭いスペースで人の流れを良くするため。スタッフ=須鎌、加倉井、三好、岡、宮腰、木本、小島、鈴木、8人

一 ▽ 写真・動画コンクールの副賞は梶間理事からの提案でもあり、竹明かりに挑戦する。ただし、具体策の検討は必要。Etc.

以上、11月15日配布

さいたま緑のトラスト協会

0号地・緑のサポート隊、第16回定例会議事

令和5（2023）年11月15日 <出席者 人>

- 一 事務局から
 - *新加入メンバー紹介ほか
 - *ボランティアスタッフ連絡会議の内容

- 一 10月22日（日）のさいたま市みどりの祭典、反省、改善点など

- 一 11月14、15日 県庁オープンデー、クラフト教室（Xmasリース）、反省など

- 一 写真・動画コンクールの副賞 竹あかりについて

- 一 本日の作業
 - みどりの祭典、県庁オープンデー、出品物後片付け

- ※ 忘年会どうしますか？

- ※ 次回定例会 == 12月6日

以上